



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月7日

上場会社名 東武鉄道株式会社 上場取引所 東
コード番号 9001 URL <https://www.tobu.co.jp/>
代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 都筑 豊
問合せ先責任者(役職名) 財務部主計担当課長 (氏名) 会田 賢太郎 (TEL) 03-5962-2183
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	466,718	4.3	61,406	35.1	60,335	36.4	40,914	44.7
2023年3月期第3四半期	447,336	21.6	45,461	124.5	44,230	94.2	28,273	132.5

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 50,648百万円(52.1%) 2023年3月期第3四半期 33,300百万円(254.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	197.92	—
2023年3月期第3四半期	135.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	1,723,847	522,934	30.0
2023年3月期	1,738,195	480,575	27.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 516,948百万円 2023年3月期 474,754百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2024年3月期	—	25.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	20.00	45.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 2024年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 記念配当 5円00銭
2024年3月期末配当金(予想)の内訳 普通配当 20円00銭

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	632,000	2.8	70,000	23.5	67,500	23.1	45,000	54.2	217.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期3Q	209,815,421株	2023年3月期	209,815,421株
2024年3月期3Q	3,099,311株	2023年3月期	3,099,118株
2024年3月期3Q	206,717,649株	2023年3月期3Q	208,627,650株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 自己株式に含めている役員報酬信託口及び株式給付信託口 (J-ESOP) が保有する当社株式数は、以下のとおりであります。

2024年3月期第3四半期 681,800株 2023年3月期 107,700株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、四半期決算短信 (添付資料) P. 2 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

「2024年3月期 第3四半期決算補足説明資料」につきましては、本日 (2024年2月7日) T D n e t で開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ変更や海外からの入国制限が緩和されたことにより、緩やかな回復の動きがみられました。一方、物価上昇や為替の変動、世界的な金融引締め等に伴う海外の景気が国内経済、個人消費に与える影響などに注視する必要があります。

当社グループにおきましては、当年度は「事業構造改革と事業推進体制の再編の着実な実行」、「事業環境の回復傾向を捉えた収益拡大」を取組方針に掲げ、引き続き目標数値の確実な達成を目指すとともに、事業環境の変化を捉え、次なる成長ステージに向けた取組も進めてまいります。

当第3四半期連結累計期間の連結業績は、営業収益は466,718百万円（前年同期比4.3%増）、営業利益は61,406百万円（前年同期比35.1%増）、経常利益は60,335百万円（前年同期比36.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は40,914百万円（前年同期比44.7%増）となり、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益はそれぞれ過去最高を更新いたしました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(運輸事業)

運輸事業では、鉄道業におきまして、通勤・通学利用の回復や各季節における長期休暇等を中心とした行楽利用の回復により定期・定期外ともに輸送人員が増加いたしました。さらに、鉄道駅バリアフリー料金制度導入及びスペース X の運行開始により、運輸事業全体としては、営業収益は156,556百万円（前年同期比10.4%増）、営業利益は26,306百万円（前年同期比55.6%増）となりました。

(レジャー事業)

レジャー事業では、旅行業におきまして、自治体等の各種感染防止対策事業等の縮減により受託収入は減少したものの、教育旅行等の団体旅行を中心に旅行取扱高は回復いたしました。また、国内旅行需要及び訪日外国人旅行者の増加により、ホテル業では都内ホテルを中心に稼働率及び客室単価が上昇いたしました。さらに、スカイツリー業では入場者数の回復に加えて人気キャラクターとのコラボイベントが奏功したことにより、レジャー事業全体としては、営業収益は133,904百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益は17,502百万円（前年同期比14.9%増）となりました。

(不動産事業)

不動産事業では、スカイツリータウン業におきまして、国内外からの観光客の回復による来場者増加により増収となりましたが、不動産分譲業においてマンションの販売戸数の縮小により減収となったものの、需要に合わせた価格設定を実施いたしました。

不動産事業全体としては、営業収益は44,081百万円（前年同期比6.7%減）、営業利益は12,012百万円（前年同期比8.3%増）となりました。

(流通事業)

流通事業では、百貨店業におきまして、外出機会の増加や脱マスク需要等により化粧品や季節の婦人雑貨に加えて、(株)東武百貨店では、池袋店において売場を拡大したアウトドア用品が好調に推移いたしました。また、ストア業では、閉店の影響により減収となったものの、駅前店舗を中心とした既存店売上の回復や販売価格の見直しにより利益が改善いたしました。

流通事業全体としては、営業収益は123,259百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益は2,953百万円（前年同期比85.0%増）となりました。

(その他事業)

その他事業では、建設業における完成工事増により増収となったことに加えて原価率が改善したことで、営業収益は59,772百万円（前年同期比10.0%増）、営業利益は3,690百万円（前年同期比260.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少等により1,723,847百万円となり、前連結会計年度末と比べ14,348百万円（前期比0.8%減）の減少となりました。

負債は、有利子負債の減少等により1,200,912百万円となり、前連結会計年度末と比べ56,708百万円（前期比4.5%減）の減少となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により522,934百万円となり、前連結会計年度末と比べ42,359百万円（前期比8.8%増）の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、当第3四半期までの業績等を踏まえ、国内旅行需要及び訪日外国人旅行客の増加等により行楽需要が想定を上回ったことで運輸事業及びレジャー事業を中心に増収となったことに加えて、エネルギー価格が想定を下回って推移し鉄道業における動力費が減少したこと等により見直しを行った結果、前回予想(2023年11月2日公表)から以下のとおり上方修正しております。

2024年3月期通期連結業績予想数値の修正(2023年4月1日～2024年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 626,000	百万円 65,000	百万円 62,000	百万円 41,000	円 銭 198.34
今回修正予想(B)	632,000	70,000	67,500	45,000	217.69
増減額(B-A)	6,000	5,000	5,500	4,000	—
増減率(%)	1.0	7.7	8.9	9.8	—
(参考) 前期実績 (2023年3月期)	614,751	56,688	54,815	29,179	140.06

詳細につきましては、本日(2024年2月7日)別途公表の「2024年3月期 第3四半期決算補足説明資料」をご覧ください。

※業績予想につきましては、発表日現在で入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	69,255	38,054
受取手形、売掛金及び契約資産	85,146	80,729
分譲土地建物	19,235	24,635
その他	32,912	41,055
貸倒引当金	△459	△142
流動資産合計	206,090	184,331
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	530,107	523,630
土地	636,409	636,312
その他（純額）	227,331	230,483
有形固定資産合計	1,393,848	1,390,427
無形固定資産		
投資その他の資産	19,455	18,572
投資有価証券	73,614	86,918
その他	46,318	44,935
貸倒引当金	△1,132	△1,338
投資その他の資産合計	118,801	130,516
固定資産合計	1,532,105	1,539,515
資産合計	1,738,195	1,723,847

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	51,922	47,051
短期借入金	36,362	32,392
1年内返済予定の長期借入金	83,143	91,760
1年内償還予定の社債	19,920	20,120
引当金	7,751	6,458
その他	260,339	243,607
流動負債合計	459,439	441,389
固定負債		
社債	158,160	138,100
長期借入金	494,592	471,511
引当金	994	2,087
退職給付に係る負債	43,997	43,801
その他	100,435	104,022
固定負債合計	798,181	759,522
負債合計	1,257,620	1,200,912
純資産の部		
株主資本		
資本金	102,135	102,135
資本剰余金	51,958	52,184
利益剰余金	258,028	290,704
自己株式	△10,302	△10,538
株主資本合計	401,820	434,485
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,624	35,303
土地再評価差額金	47,593	47,559
為替換算調整勘定	144	197
退職給付に係る調整累計額	△428	△597
その他の包括利益累計額合計	72,933	82,462
非支配株主持分	5,820	5,985
純資産合計	480,575	522,934
負債純資産合計	1,738,195	1,723,847

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
営業収益	447,336	466,718
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	314,575	315,443
販売費及び一般管理費	87,299	89,868
営業費合計	401,875	405,312
営業利益	45,461	61,406
営業外収益		
受取配当金	1,672	1,964
保険配当金	443	412
その他	1,781	1,654
営業外収益合計	3,897	4,032
営業外費用		
支払利息	4,256	4,267
その他	871	835
営業外費用合計	5,128	5,103
経常利益	44,230	60,335
特別利益		
固定資産売却益	193	73
投資有価証券売却益	184	309
工事負担金等受入額	5,086	191
補助金収入	177	218
その他	723	99
特別利益合計	6,366	893
特別損失		
固定資産除却損	547	1,099
固定資産圧縮損	5,084	190
減損損失	1,723	416
投資有価証券評価損	-	327
退職給付制度終了損	423	-
退職特別加算金	409	-
その他	366	328
特別損失合計	8,554	2,362
税金等調整前四半期純利益	42,042	58,866
法人税、住民税及び事業税	12,641	16,520
法人税等調整額	1,034	1,265
法人税等合計	13,676	17,786
四半期純利益	28,365	41,080
非支配株主に帰属する四半期純利益	92	166
親会社株主に帰属する四半期純利益	28,273	40,914

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	28,365	41,080
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,218	9,683
為替換算調整勘定	95	53
退職給付に係る調整額	△378	△168
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	-
その他の包括利益合計	4,934	9,567
四半期包括利益	33,300	50,648
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	33,203	50,477
非支配株主に係る四半期包括利益	97	170

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	運輸事業	レジャー 事業	不動産事業	流通事業	その他事業	計		
営業収益								
(1) 外部顧客への 営業収益	139,265	127,849	37,551	114,914	27,754	447,336	—	447,336
(2) セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	2,523	434	9,705	7,248	26,600	46,511	△46,511	—
計	141,788	128,284	47,256	122,162	54,354	493,847	△46,511	447,336
セグメント利益	16,910	15,226	11,095	1,596	1,024	45,853	△392	45,461

(注)1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	運輸事業	レジャー 事業	不動産事業	流通事業	その他事業	計		
営業収益								
(1) 外部顧客への 営業収益	153,876	133,524	34,335	115,689	29,293	466,718	—	466,718
(2) セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	2,680	380	9,746	7,569	30,478	50,854	△50,854	—
計	156,556	133,904	44,081	123,259	59,772	517,572	△50,854	466,718
セグメント利益	26,306	17,502	12,012	2,953	3,690	62,465	△1,058	61,406

(注)1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。